

「ものづくり基盤研究会」 開催案内

— 回折・散乱法を中心とした材料強度における課題解決に向けた評価技術 —

主催：中性子産業利用推進協議会（IUSNA）

総合科学研究機構（CROSS）

共催：茨城県中性子利用研究会

SPring-8 ユーザー共同体 残留応力と強度評価研究会

日本原子力研究開発機構（JAEA）マテリアル先端リサーチインフラ

協賛：J-PARC MLF 利用者懇談会

【開催趣旨】

材料、部材の内部応力、ひずみを知ることは、材料・部材の変化、余寿命を前提とした製品の設計に重要です。本研究会は、2019年度まで設置していた「残留応力・ひずみ研究会」での活動を受けて、対象とする材料を限定することなく順次拡大し、内部応力、ひずみの測定技術をより深く理解し、更なる活用につなげるべく、基礎的事項から最新の測定技術までを知る場として設定します。

本年度は、回折、散乱法を中心とした実材料または模擬材料に関するホットな研究事例を紹介します。

記

1. 開催日時：2024年2月26日（月） 13:15～16:05

2. 開催場所：ZOOMによるリモート開催。

3. プログラム

13:15～13:20 開催趣旨説明 主査 町屋修太郎（大同大学）

13:20～13:55 実用 MgB₂ 超電導線材の中性子と放射光を利用したひずみ測定の実例
町屋修太郎（大同大学）

13:55～14:30 中性子回折を用いた ITER 導体中の Nb₃Sn 超伝導素線に対するひずみ評価
諏訪友音（QST）

14:30～14:40 休憩

14:40～15:15 マイクロメカニクスで求めた樹脂相応力に基づく短繊維 GFRP の疲労
清水憲一（名城大学）

15:15～15:50 小角散乱法を用いた金属材料中のナノ構造の解析
大場洋次郎（豊橋技術科学大学）

15:50～16:00 総合討論

16:00～16:05 閉会のあいさつ 主査 町屋修太郎（大同大学）

4. 参加費

中性子産業利用推進協議会参加企業、大学教職員、研究機関、学生：無料

中性子産業利用推進協議会以外の民間企業の方：税込 2000 円（資料代）：事前に納付いただきます

5. 申込方法：以下の申込フォームからお申し込みください。

<https://forms.gle/4otPbyjzW2ctc2jF6>

※ご入力いただいたメールアドレスにお申込み確認のメールが自動的に送信されます。

返信が確認できない場合、あるいは、上記申込フォームが利用できない場合には、ご所属、お名前、E-mail アドレスを本文に記して、中性子産業利用推進協議会まで E-mail（アドレスは下記）にてお申込みください。

※テキスト代振込先：常陽銀行 東海支店（普通）1598420 口座名：中性子産業利用推進協議会

チュウセイシサンギョウリヨウスイシンキョウギカイ

6. 申込締切：2024年2月20日（火）※ZOOM 接続情報は、申込締め切日以降にお知らせします。

7. アンケートのお願い

研究会終了後、次回開催の参考とするため、アンケートを行います。

以下のフォームへのご回答をお願いいたします。

(準備中)